

ニュース さよなら原発 第76号(改訂版) 2019. 5. 15 発行



さよなら原発ひたちなか市実行委員会

連絡先：ひたちなか市馬渡 2824-63 佐藤 英一 TEL:029-273-4775

ホームページ： <http://sayonaragenppatu.wixsite.com/mysite>

東海第二 本格工事 県・市村の意向に関係なく 原電の一存で推進

4月・東海村内 住民説明会で原電

原電は、東海第二の本格工事をいつ・どのタイミングで行うかは県や5市1村の意向に関係なく、夫々の工事の進み具合で判断する。防潮堤工事は既に契約したと説明しました。技術的な欠陥を指摘されても受け流しです。工事費(下表)はAを正式と認めつつもBを否定せず、本当のところは不明です。銀行から資金借入れが決まらない経理的基礎を欠いた(原子炉等規制法違反の疑い)無謀な工事ですが、政府や東電等を後ろ盾に本格工事に取り掛かっています。

2つの工事情報	必要工事費	工事完了期	再稼働期	銀行融資
A. 原電の公表	1740億円	2021年3月	—	未承認
B. マスコミ各社報道	3000億円	—	2023年1月	

勝田駅で定例の「さよなら原発」ニュース配布中、
ある高校生からメモ書きを受取りました。
「再稼働反対すごく良いと思います。その意見大事にして下さい。誰に何を言われても私は応援しています」

東海第二 再稼働反対の陳情 6月議会で 判断へ

手紙・はがきで再稼働反対を市議会に伝えましょう。

市議会の総務生活委員会は3月の協議で、本会や自治会有志などの東海第二原発再稼働反対の陳情を来る6月に判断するとなりました。決議の内容は現在の視点で見直す模様です。

原電側から議会に働きかけがあり得ます。

市民の手紙等が議会に届いています。

次はあなたが・・・。

ハッキリと再稼働反対を決議していただきましょう！

ご家族やお友達の声を集め、

市議会に届けましょう！

「東海第二を動かすなんて とんでもない」

「原発なくすのに 保守も革新も、

与党も野党も、関係ない」

(小泉元首相 昨年4月 水戸市)

312-8501
ひたちなか市東石川
2丁目10番1号
市議会
総務生活委員会御中
ひたちなか市〇〇町
氏名(連名など)

(はがき表面)

東海第二原発の
再稼働に反対します

(はがき裏面)

電話：029-273-0111(代表)
ファクス：029-276-0472

古い「東海第二原発」は、廃炉が一番！
◇原発でできた放射能は、消滅する技術がなく、何万年も脅威です。
子どもたちに、安全な未来を
◇原発廃炉へ、廃炉技術を磨くことが重要です。



ひたちなか市での 東海第二原発への 声 声 声

皆さんの 声・つばき
お寄せ下さい。
TEL/FAX: 029-273-4775

中根 60代後半 男性

会員：東海第二をなくす運動のビラです。

男性：俺も、なくすことに賛成だ。俺は東海第二で若い時から働いていたが、8年前の福島の大事故をみて東海第二は無くさないダメだと思えるようになった。

会員：ここから近すぎますからねー。

男性：原発で働いていた当時は、原発は安全だと会社から言われ、何の疑いも持たなかった。しかし、今思うと不思議なことが時々あった。外国人が原発内に来た時だ。彼らは、防護マスクをし、完全装備で入ってきた。

だが、俺たちは簡単なマスク程度で作業を続けた。外国人は原発の危険を知っていたんだ。俺たちは知らされていなかった。

会員：会社の人でも原発の安全を信じ切っていて、福島事故で初めて原発の危険性を実感した人もいるのではないですか？

男性：そうかも知れない。原電は安全・安全と宣伝するがそれは宣伝する彼ら自身のための宣伝だ。騙されてはいけない。東海第二は無くさないダメだ。

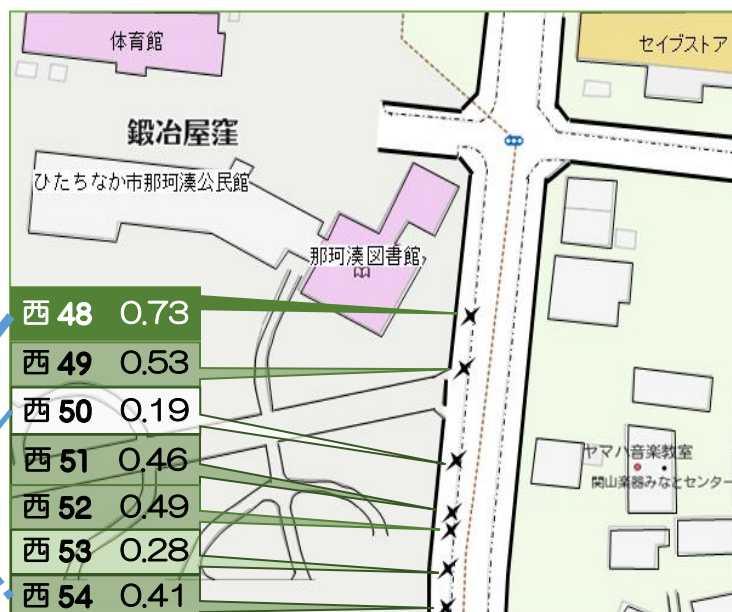
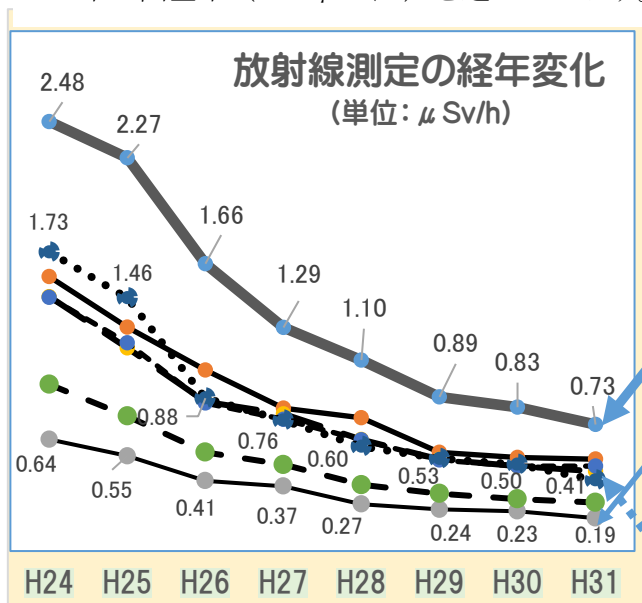
会員：実際の体験談。勉強になりました。

放射線測定ボランティア・正治さんが、測ってみると？

神敷台地内 県道・ケヤキ並木（小学生通学路）放射能汚染 現在も樹木の約半数が国基準を上回る

東電福島第一原発事故から8年。小学生の通学路でもある南北1kmの県道・ケヤキ並木、全166本の根元近く高さ50cmで測定し続けたところ、今も79本で国基準（ $0.23 \mu\text{Sv/h}$ ）を超えています。

下の図は、特に、那珂湊図書館付近の結果で、今も6本が基準値を超えています。これを8年間の変化で見たのが左のグラフです。



1) $\mu\text{Sv/h}$ (マイクロシーベルト毎時)、2011年の原発事故前は $0.05 \sim 0.02 \mu\text{Sv/h}$ でした。 2) 測定器: HORIBA PA1000 Radi

セシウムからの放射線は測定を開始した2012年4月から3年後に約半分に減りました。今後は減り方がゆるやかになるので半減するのに約30年かかると推定されます。樹木の根元に濃縮されがちなので要注意です。